

「カノープスの観測地(4)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

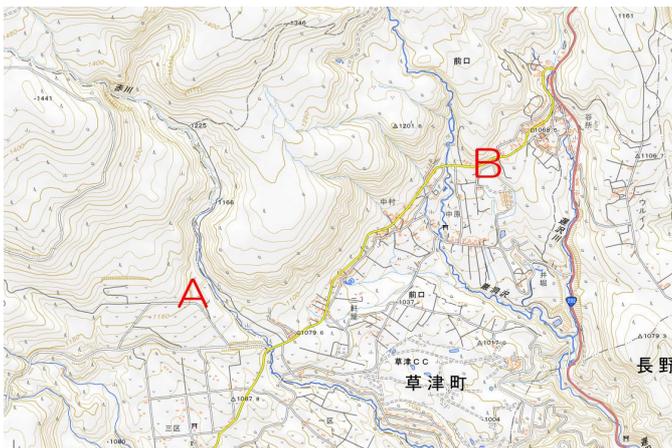
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

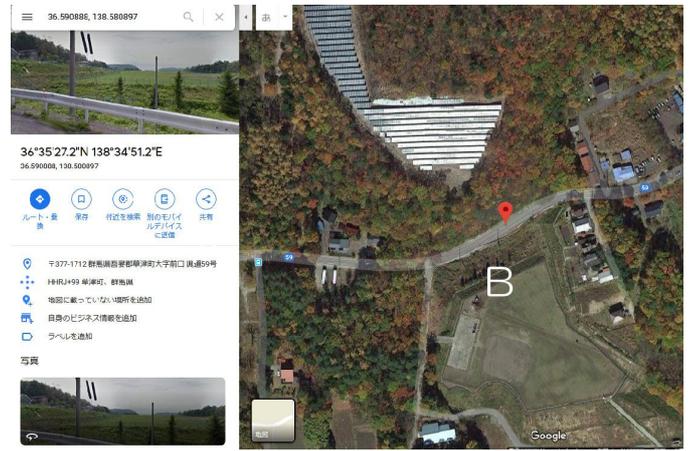
小諸の観測地は「カノープスに見えるはず」なのだが、実際には見えなかった。天体写真的にも、佐久の街の灯火で良い構図にはならない。私は、以前撮影に成功した嬬恋村北部をもう一度調べてみることにした。



観測候補地は、上地図のA付近である。吾妻川をはさんで南のB地点(浅間山東側の鞍部)まで、障害になる地形はまったくなく、まっすぐ見通しが効く。



上図は現地付近の拡大図だ。Aが前回撮影に成功した地点。確かに車で行けるのだが、冬季はほぼ通行止めになっていて、車で行ける可能性は低い。今回第一候補としたのはB地点だ。嬬恋～草津を結ぶ県道沿いにあり、たとえ積雪があっても車で行ける場所だ。正確には草津町八所(やとこ)という地名で、かつて草軽電鉄の駅があった場所だ。標高も高く、非常に有望な候補地である。



再び「グーグルマップ」の「ストリート・ビュー」で「下見」をすることにした。B地点は道幅が広がっていて、駐車スペースもあることがわかった。夜間に路肩駐車するのは危険なので、駐車スペースの有無は重要である。



南側の眺望も申し分ない。道のすぐ下にグラウンドがあり、視界を邪魔するものが何もない。計算上、一番近い遮蔽地形(浅間山東方の鞍部)の仰角も 0.7° 程度で、カノープスに見えるはずである。



ステラナビゲーターで確かめると、確かにカノープスが見える。空の暗さも小諸とは比較にならない。私はここでカノープスは観測可能と確信した。